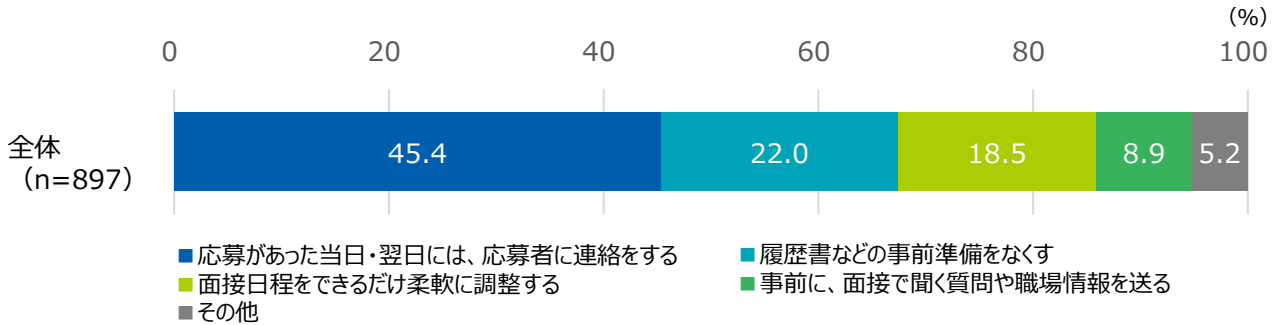


ジョブズコミュニティレポート 2023年2月号

辞退防止の工夫、「応募当日・翌日の連絡」が約半数に —スピーディな選考や応募者の負担軽減で、面接率アップへ—

Q 面接まで確実につなげるために、特に効果があったと感じる工夫、もしくは効果がありそうだと感じる工夫を教えてください。



「応募があったのに、面接前に辞退連絡が届いた」「面接の調整をしていたら、連絡が取れなくなった」このようなことはないでしょうか。今回は、応募後の辞退を減らし面接につなげるために、実施してみて特に効果があったと感じた工夫、もしくは効果がありそうだと感じる工夫を、経営者や採用担当者に伺いました。

「応募があった当日・翌日には、応募者に連絡をする」が45.4%で最も多く、約半数の企業がスピーディな対応を特に重視していることが分かりました。弊社の「[求職者の動向・意識調査2021](#)」で取得した求職者の動きと照らし合わせてみましょう。

■ 仕事探しにかけた期間

n=	1週間未満	1週間以上～ 2週間未満	2週間以上～ 1か月未満	1か月以上～ 2か月未満	2か月以上～ 3か月未満	3か月以上～ 6か月未満	6か月以上～ 1年未満	1年以上	
全体	8,801	32.9%	9.9%	13.3%	13.1%	8.5%	8.0%	4.5%	9.7%
アルバイト・パート	2,789	36.0%	12.0%	13.5%	12.1%	7.6%	6.2%	3.8%	8.8%
正社員	3,093	32.1%	8.5%	12.5%	14.6%	9.8%	7.9%	3.7%	10.9%

↑調査時点および仕事探し当時の就業形態

ほぼ3人に1人が1週間未満で仕事探しを終了し、アルバイト・パートに限ると、2週間未満が約半数に上ります。そうしたなか、「忙しくて応募を確認できない」「落ち着いてから連絡しよう」といった対応では、応募者に連絡したときには、すでに仕事探しを終えているという状況になりかねません。応募状況を少なくとも始業・終業時に確認する、応募があればすぐ連絡して接点をつくる。また、少しでも負担を減らし、忙しくてもすぐ対応できるよう採用管理システムを取り入れるのも有効かもしれません。

続いて、約2割の企業が「履歴書などの事前準備をなくす」ことが特に効果的だと答えました。履歴書の準備は、履歴書を書く、履歴書用写真を撮る、場合によっては事前に郵送するなど、時間・費用の負担がとても大きいです。「準備が大変だから辞退しよう」という判断にもなりかねません。事前準備を課している場合には、それが本当に必要なのか、手書き履歴書から簡単なフォーマットに変えられないか、面接時の記入で代用できないかなど、一度見直すのも良いのではないのでしょうか。

辞退を完全になくすのは難しいですが、ちょっとした工夫で辞退を防止することは期待できます。面接をなるべく早くに設定する、事前準備をなくす以外にも、面接に来たくなるように、面接で話したい内容や職場情報を事前に提供することや、可能であれば面接をオンラインでおこなうことも効果的かもしれません。今回のアンケート結果を参考に、これまでできていなかったこと、自社でも取り組みそうなことを検討してはいかがでしょうか。

※レポート内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります

- アンケート実施期間：2023年1月20日～1月26日
- 有効回答数：897人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員
- 本レポートに関するお問い合わせ先
株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター jbrc@r.recruit.co.jp
- その他のアンケート結果はこちらから
https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html